

Indonesia Weekly

2019年8月5日



(対象期間：2019/7/29～2019/8/2)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年8月2日)



【株式市場】

週明けは米連邦公開市場委員会（FOMC）を直前に控え投資家の様子見姿勢が強まる中、インドネシア株式市場は消費関連株を中心に下落しました。しかしその後、人工島開発の許可を受けてインフラ関連株が堅調となり、上昇に転じました。後半はFOMCの発表を受けて長期的な緩和期待が後退する中、トランプ米大統領が中国製品への関税上乗せを発表しました。これを受けて米中貿易摩擦激化の懸念が広がり、週末にかけて下落しましたが、週間では上昇しました。

2019/7/26	2019/8/2	変化率
6,325.24	6,340.18	+0.24%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年8月2日)



【債券市場】

FOMCを直前に控え投資家の様子見姿勢が強まる中、30日に行われた国債入札では堅調な需要が見られました。しかし、FOMCでは0.25%の利下げが決定されたものの、長期緩和サイクルの開始が否定されたため、世界的に債券市場の利回りは上昇（価格は下落）し、インドネシア10年国債利回りも大幅上昇となりました。その後も、米中貿易摩擦激化の懸念からリスク回避姿勢が強まり、週末にかけて利回りはさらに上昇し、週間でも上昇しました。

2019/7/26	2019/8/2	変化率
7.215	7.569	+0.354

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年8月2日)



【為替市場】

FOMCでのパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長のタカ派的な発言を受けて米ドル高が進み、ルピアは対米ドルで下落しました。また、週末にかけて米中貿易摩擦激化への懸念からリスク回避姿勢が強まる中、円が急伸し、対円でもルピアは大幅下落となりました。

2019/7/26	2019/8/2	変化率
0.7776	0.7527	-3.20%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。

